

令和8年度 豊浜中学校 学校経営構想図

学校教育目標

自ら考え主体的に学び表現する児童生徒の育成

～ 郷土に誇りを持ち、理想の実現をめざす ～

と

ともを大切に
人権の尊重

よ

よく学ぶ
学習に励む

は

はっきり伝える
思いを表現する

ま

まじめを尊ぶ
日頃の心構え

めざす学校像 「夢」があり、「感動」があり、「笑顔」があふれる学校

- ①基礎・基本を徹底し「主体的な学び」を育てる学校
- ②一人一人が大切にされ、「活躍」の場がある学校
- ③家庭や地域と連携し、みんなが「誇れる」学校

めざす生徒像 「志」をもち、主体的に学ぶ生徒

- ①自分で課題を発見し、既習事項や情報を基に課題を解決しようとする生徒
- ②相手の思いや考えをしっかりと聞いたり、伝えたりしながら、よりよい考えを創造し「表現」しようとする生徒
- ③他者への「思いやり」をもち、協力しながら人間関係をつくり、地域に貢献しようとする生徒

めざす教師像 生徒に寄り添い、信頼される教師

「おやどうしたん！調子が悪いんか？」

- ①教育公務員としての自覚と使命感を持って活動する教職員
- ②自ら進んで研鑽し、力量を磨き合う教職員
- ③社会や子ども変化に柔軟に対応できる教職員

《研究主題》 主体的・対話的に深く学び、思いを表現する生徒の育成

～ 一人一人が問いをもち、かかわりを通して学びを深める授業の実現 ～

広島県の15歳に身に付けてもらいたい力の育成

防災教育の深化

「自分の命は自分で守る力」の育成

地域の災害リスクを踏まえた
実践的な防災教育の推進

- 小中合同防災学習・避難訓練の充実
- 振り返りを大切にしたい指導、掲示等の充実

確かな学力(知)・豊かな心(徳)・健やかな体(体)

主体的対話的に深く学び、思いを分か
りやすく表現できる生徒の育成

ゆたかな人間性を持ち、健康でたくま
しく生き抜く体力を持つ生徒の育成

○子どもの問いが生きる「考える授業づくり」

【最重点】 授業者のファシリテーションで「事象にであう、問いをもつ・見通しを立てる」「かかわりを通して考えを広げ、深める」等の学びの過程の実現

- 少人数の利点を生かし、全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫や生徒に関わりきる指導の充実 **“全員が笑顔になれる授業”**
- 小中一貫教育による異年齢交流や生徒個々の活躍の場を意図的に設定することを通じた自己肯定感の向上 **“すべての人が「主役」の学校”**
- 特別支援教育の視点(ユニバーサルデザインの考え方)を取り入れた工夫

ICT(特にキュビナ)の積極的な活用

個を大切にした支援の充実

「生徒が相談しやすい雰囲気醸成」と「教育相談や校内連携、関係機関連携の充実」
安心・安全な風土の醸成

信頼される学校づくり

- ☆ 保護者・地域(学校運営協議会)との連携による信頼関係の向上
PTA行事、地域行事への参加など、地域に発信、貢献する活動を通して信頼関係を向上する。
- ☆ 働き方改革を推進し教職員の健康・福祉の向上
時間を意識し計画的・効率的に業務を進めることで生徒と向き合う時間の確保と時間外勤務の縮減